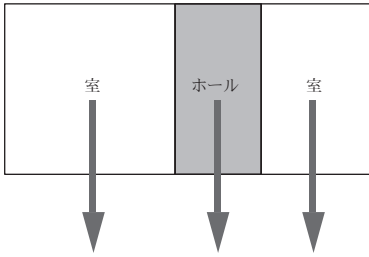


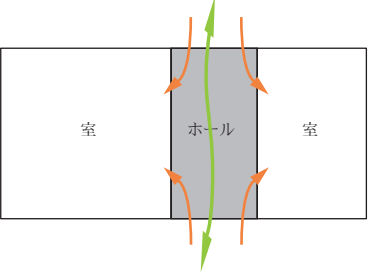


KAMISU H house

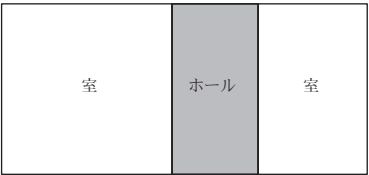
〈かみすーほしな〉



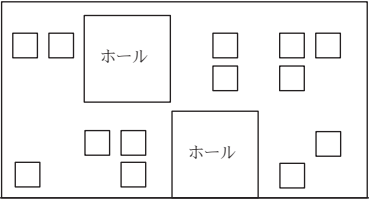
全ての部屋が南面する



外部環境との中間領域
光と風

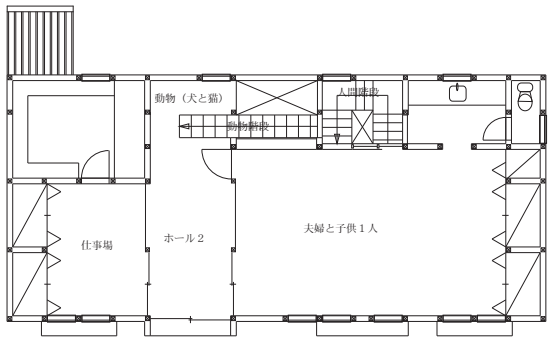


ホールの用途
玄関・サンルーム・自転車置場
冬の植物置場・室内物干し
ディスプレイスペース
書庫・書座・ブレイルーム・勉強コーナー・・・
事務スペース・パソコンコーナー・開放的な食堂
動物のスペース・・・

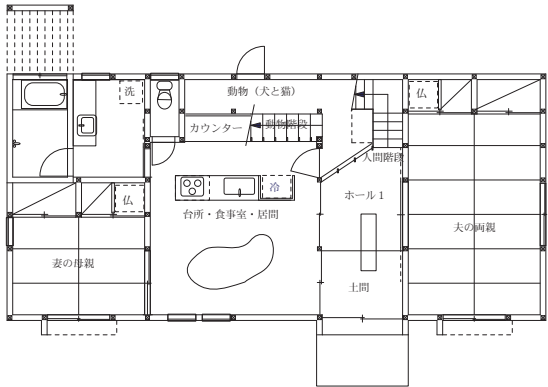


開口部の使い分け
ホール：通風・採光の大開口
その他：眺望・通風調節の小開口

基本空間構成 概念図



2階



1階

所在地：茨城県鹿島郡神栖町
建築用途：住宅
主体構造：木造2階

建築面積：83.22㎡
延床面積：163.96㎡

原型としての空間構成

地方住宅のプロトタイプ的な間取りを目指している。農家の田の字プランの現在版のような間取り。ホールと呼ぶ、廊下より広いスペースに居室を隣接させ、様々なライフスタイルに対応できる空間としている。また、窓の役割を採光・眺望・通風の三つに分けて開口部を作っていくことで、住宅の顔ができあがっている。ここではホールに沢山の光を取りこみつつ、両サイドの居室に光を分配している。ホールは縁側のような中間領域として、環境面でのバッファゾーン役も兼ねている。

ローコスト化の試み

シンプルな直方体とし、職種を減らすことにポイントを置いた。たとえば内部はほとんど大工さんで可能な材料を選ぶことで、塗装・内装屋さんを必要としなかった。また外部も板金職人だけで可能な造りとする事で、坪31万の超ローコストとなった。

新しい素材づくり

将棋盤の製作過程で木っ端が沢山でるという情報を得て、簡易的な集成材を作ってみた。ここではキッチンに利用することで、空間の質を上げる重要なマテリアルとなった。

